

働き方を変える！ 三豊市の自治体DX

香川県三豊市
総務課デジタル推進室

本資料は、三豊市資料「働き方を変える！三豊市の自治体DX」より
抜粋して、建築保全センターが作成したものです。

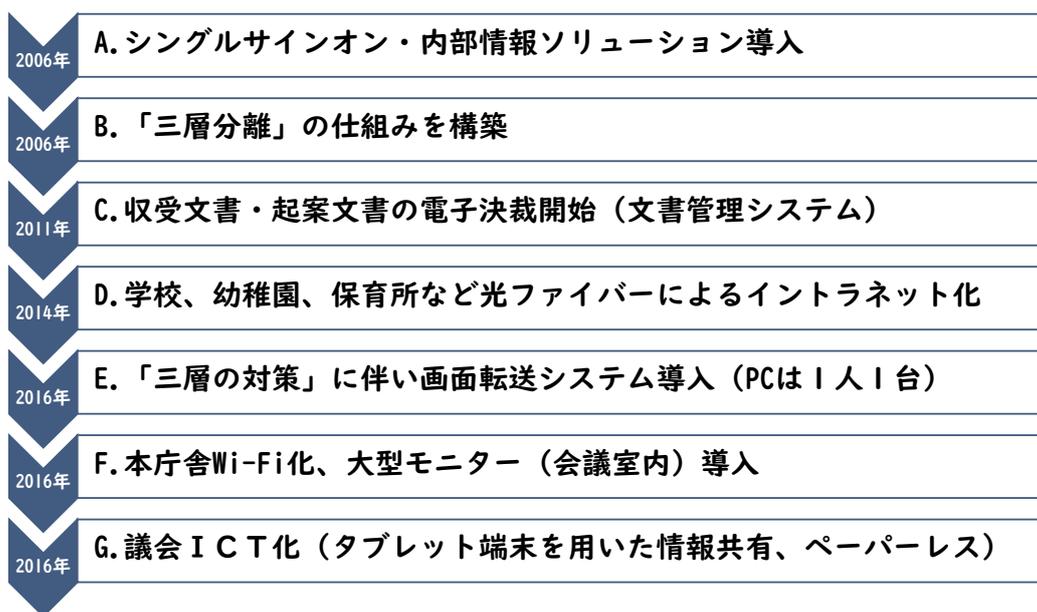
1



2

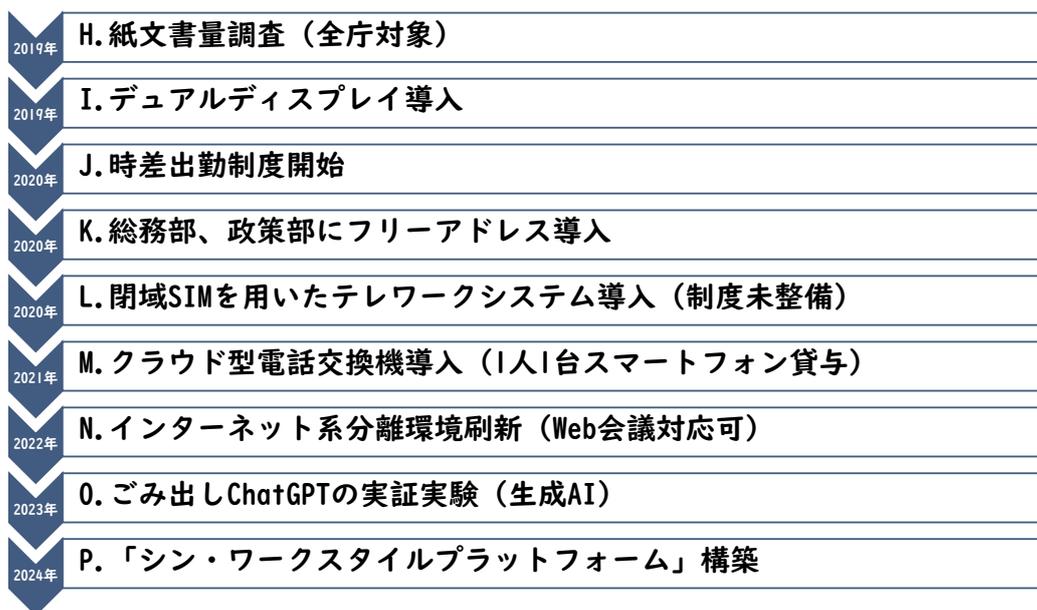
これまでの取組み（三豊市誕生～2016年）

三トヨで、
やって三ヨ。



これまでの取組み（2019年～2024年）

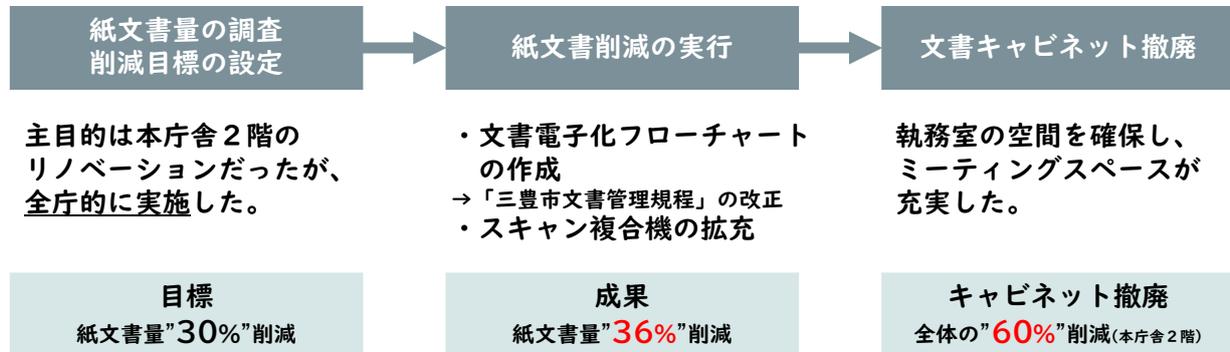
三トヨで、
やって三ヨ。



H. 紙文書量調査（全庁対象）

三トヨで、
やって三トヨ。

◆ 本庁舎2階（総務部、政策部）をパイロットオフィスとして実施

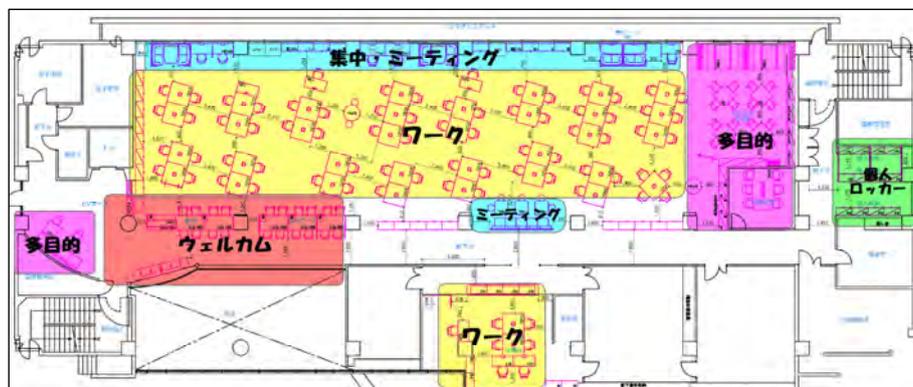


ペーパーレスの一層の推進

K. 総務部、政策部にフリーアドレス導入

三トヨで、
やって三トヨ。

■ テーマに基づいたエリア設定



- ワーク…執務を行うワークエリア
- ウェルカム…来庁者をお迎えするウェルカムエリア
- ミーティング…執務に集中したりミーティングができる集中・ミーティングエリア
- 多目的…コミュニケーションの促進を図る多目的エリア
- 個人ロッカー…ノートパソコンや筆記用具等の私物を収納する個人ロッカーエリア



狭山市「新しい働き方」対応基本指針

challenge park Sayama

～童心を忘れずに働こう！！～

令和3年11月

本資料は、狭山市資料「新しい働き方」対応基本方針」より抜粋して、建築保全センターが作成したものです。

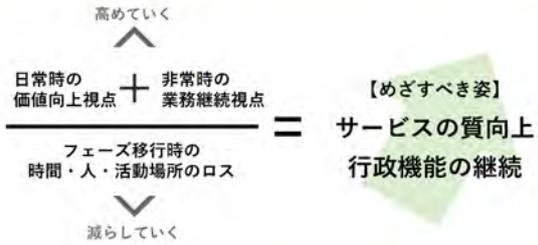
7



新しい働き方の基本的な考え方「フェーズフリー」

新しい働き方に対するビジョン＝フェーズフリーの考え方

- 本市のafterコロナの新しい働き方の基本となるのはフェーズフリーの考え方です。
- 「いつも」の価値を高め、「もしも」の業務継続を実現する一方、日常時から非常時へのフェーズ移行にかかる時間や人や活動場所のロスを減らすことによって日常時のサービスの質向上と非常時の行政機能の継続を実現する、というのがフェーズフリーの考え方です。
- フェーズフリーに基づく新しい働き方により、職員のみさんの「いつも」の価値が高まって市民サービスの向上に繋がり、さらには「もしも」の業務継続にも対応できることを目指します。



働き方（ワークスタイル）と働く場（ワークプレイス）

- afterコロナには、さまざまな変化への対応が必要となります。たとえば、「いつも」の業務価値向上、「もしも」の感染症対策、「これからも」の自治体DX対応などです。
- これら予測される変化に対し、どんな時でも適応・進化し続ける働き方を考えるには、働き方（ワークスタイル）だけでなく働く場（ワークプレイス）についても併せて考えておく必要があります。
- 現時点ではまだ実現できなくても、働き方（ワークスタイル）と働く場（ワークプレイス）をそれぞれフェーズフリーの視点で整理しておくことで、テレワークなど自治体DXのような中長期視点の課題に対しても有効な解決策となります。



これからの働き方のコンセプト「challenge park Sayama」

「いつも」の価値を高める狭山市のワークスタイルコンセプト
(職員ワークショップによって導き出された新しい働き方のコンセプト)



なんでparkなの??

様々な人が色々な想いを持って集まる場所
誰でも気軽に利用できて楽しい場所
職場もそんな場所にできたらいいな♪
#制限や線引きはない
#心理的安全性がある



童心ってどういうこと??

子どもの頃は、集まればみんな友達
楽しみたいという想いに向かって一直線
そんなつながりや気持ちで
仕事に挑めたらいいよね♪
#立場・年齢関係なく #素直・純粋



すべての要素ってなに??

やりがいも
達成感も
チャレンジへの原動力も
連携や協力や多様性だって、、、
#何でも楽しくなければ生まれない!



打合せスペース(手前)と
WEB会議用個室ブース(奥)



フェーズフリーに対応できる
キャスター付きデスク